

# 業 務 報 告

(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

## 1 総 括

公益法人に移行してから丸2年が経過し、平成26年度総会において初めての役員改選が行われた。

新役員のもと、当協会は、平成27年に開催される第39回全国育樹祭へ協賛するとともに、関係機関と連携しながら森林の公益的機能の維持増進と水環境の保全を目指す「清流の国ぎふづくり」を積極的に進めた。

また、平成26年11月には、法に基づく県の立ち入り検査を受検し、改善が望ましい事項等指導された内容に沿って事務制度を改善し、適正かつ効率的な事務運営に務めた。

### (1) 山林協会が重点的に取り組んだ事業

#### ① 第39回全国育樹祭開催のための協賛

全国育樹祭への協賛として、横断幕・懸垂幕及び環境教育読本を寄贈した。

横断幕・懸垂幕については、協賛第1号として平成27年1月20日に日置会長が岐阜県知事に育樹祭の横断幕・懸垂幕の目録を手渡した。

#### ② 「森林のたより」の充実

ページ数を増やすなど内容を充実させるとともに、県下のほぼ全部の道の駅に配付した。

#### ③ 森林の公益的機能を維持増進させる里山林整備の推進

国事業として、平成25年度から始まった森林・山村多面的機能発揮対策の岐阜県事務局を担当し、里山林整備の推進に努めた。

#### ④ 国・県に対する提案・要望活動の強化

岐阜県議会議員全員との懇談会の開催、岐阜県知事との懇話会の開催等を通じ、県行政に対して岐阜県森林組合連合会等県内関係団体と連携し、山地災害防止、森林の整備・保全、水辺環境の保全、野生鳥獣対策等の提案・要望活動を実施した。

県選出国會議員・林野庁に対しては、8月及び1月に岐阜県森林組合連合会等県内関係団体と連携し提案・要望活動を実施した。

また、平成26年度は、中部地区治山林道連絡協議会の事務局を担当し、中部各県との意見交換を行うとともに、提案・要望項目をとりまとめ、林野庁及び県選出国會議員に対して適正な森林整備・保全のための予算の確保等を強く要望した。